

歩いて・観て・発見するノートマガジン

ある国立 歩記

KUNITACHI・ARUKI



2018/Spring
vol. 42



[特集]

新しい
扉の開き方。

Challenge yourself!

SEKIYA
初入荷

春限定!!
「ペントピア甲州 桜花」

この春
初め咲いた
ワインです。



山梨県白/720ml/2376円(税込)
ペントピア甲州 桜花 2017 五味ワイナリー

山梨産ぶどうの個性を生かしたワイン造りを行う、創業1963年の五味ワイナリー。メディアへの露出こそ控えめなものの、日本ワインコンクールでも高い評価を受けるこの実力派醸造所より、春限定・少量生産の「ペントピア甲州 桜花」が初めてせきやに届きました。ソメイヨシノをイメージしたという淡いピンクの白ワインはこれからの季節にぴったり。
まもなく満開になる国立の桜を愛でながら、そのすっきりとした風味をお楽しみください。

こちらもおすすめの春ワイン
Wine for Spring

ピノ・ノワール100%のロゼ
ゼクト・ロゼ ナトゥーア/ベルンハルト・フーバー
ドイツ/750ml/5,940円(税込)

世界有数の醸造所、ベルンハルト・フーバーによるピノ・ノワール100%のスパークリングロゼ。優しい香りとしっかりとした旨みを感じさせる1本です。

ビールのように楽しむワイン
てぐみ(マスカット・ベリーA)/丹波ワイン
京都/750ml/1,620円(税込)

「ビールのように最初の乾杯から楽しむ」のコンセプト通り、清涼感あふれる味わい・喉ごしが魅力の微発泡ロゼ。家族や仲間と過ごすシーンにどうぞ。



春のイベント情報

ワイン・日本酒・焼酎、150種類以上!
せきや 春の試飲会
2018年3月25日(日)

1部 12:00-14:00(13:30受付終了)
2部 15:00-17:00(16:30受付終了)

※完全入替制

会場=せきやビル7F エンラホール
前売券 2,500円(当日券 3,500円)

※定員になり次第、締め切らせていただきます。



C'est à Vie
SAKE-BOUTIQUE
SEKIYA
Depuis 1910



おかげさまで108周年!

国立市中1-9-30(国立駅南口徒歩1分)
☎042-571-0001 [1F・B1F]
【OPEN】11:00~22:00
【定休日】なし

春を整える、暮らしの道具



左上から時計まわりに：ミモザ柄の靴下、近所の子どもに教えてもらった富士見台団地のクローバー畑で四つ葉を発見、娘さんのランドセルと使い込まれた木の椅子、春の日差しにまどろむ看板猫のト。

谷保の生活雑貨店『musubi』のお客さんに、「自宅に無垢のテーブルを置きたい」と考えた人がいたそう。無垢材の手触りを長持ちさせるために、「毎晩、テーブルの上には何も置かない状態にしておく」ことを、家族と一緒に習慣にするところから始めたという。

「いい物は、自分の暮らしをいい方向に変えてくれます。そんな道具を扱っていきたくて、改めて感じました」と、店主の坂本さん。暮らしになじむかどうかは使ってみないとわからないことも多いため、お店には、実際に使ってみて心地よいと感じたものだけを置いている。

「物を選ぶとき、あのお宅に合いそうだから、あの人が好きだろうとか、友達やお客さんの顔が浮かんできます」。時間に追われていた会社勤めの頃とは違い、今では暮らしを楽しみながら働く坂本さん。その姿は芯がありつつも、柔らかい。



【坂本真紀 (さかもと・まき)】
インテリア・雑貨のバイヤーを経て、出産をきっかけに「働き方を変えよう」と、2011年6月に自宅の一階に『musubi』をオープン。



【musubi】
日常になじむ、ささやかで美しい暮らしの道具を取り扱う。季節の展示や作家さんのワークショップも開催。[URL](http://musubiwork.jp) musubiwork.jp
「猫と暮らせば展」3/22(木)～31(土)開催

text : Yu Kato 写真提供 : 坂本真紀



日々の中に、小さなときめきを

SAEDECO

早川紗枝さん

ジュエリーデザインや美術館企画業務を経て、オリジナルアクセサリーやフラワーデコレーションブランド「SAEDECO」を立ち上げた早川さん。「直接お客様1人1人と向き合える場が欲しくて。」と、古民家の蔵にアトリエを構えた。アトリエでは“人と人、人とモノ、新たな自分とも向き合える”ようなギャラリー展示も企画している。

[SAEDECO] 谷保5119 やぼろじ/蔵2F
不定休(ホームページにて確認を)
URL saedeco.com



女性の輝きを応援したい!

LOHATY

櫻井絢子さん

出産を機にサロンワークを引退した櫻井さん。3人の子どもを育てながら、家事や育児、仕事や介護に追われる女性が思うように美容院に行けない現実を自分自身が体験した。「同じ体験をした私なら、女性のためのサロンを作れる! そう思ったんです。」と一念発起。ヘアスタイルとパーソナルカラーの女性専用のサロンを開いた。

[LOHATY] 谷保5119 やぼろじ/蔵1F
女性専用・完全予約制/(ホームページにて確認を)
URL lohaty-kunitachi.tokyo

新しい扉の開き方。

Challenge yourself!

新しい季節がやってきました。
今号では、そんな季節にぴったりの、
くにごたちで新しい扉を開いて
一歩踏み出した方々をご紹介します。

text: Kumiko Isogai / Hisayo Uesugi / Yu Kato / Mio Kobayashi

くにごたちは素敵な街。—そうささやかれるのは、この街を大切に想う人々、或は丁寧な営みを続ける人々のおかげではないだろうか。個性的な店、魅力的な場所、人と人、モノとの出会いが、かけがえない財産となり、街の物語を紡いでいく。「働き方改革」が提唱される今、組織に所属しない、子育てをしながら、或は地域に根付いて等、多様な生き方や働き方を選ぶ人がある。そうした人を支援する助成制度や支援組織(ページ下参照)もある。利便性を追求し画一化されたものではなく、こうした多様な人々の活躍の場がある街の未来は、明るい。そう、信じたい。

起業したい、でも何から始めたらいいの? —CESAくにごたち事務局長 間瀬英一郎さんにお聞きしました!

CESAくにごたちは、地域におけるプロジェクトの立ち上げやコミュニティビジネスに取り組む起業家の支援活動を行っている民設民営の中間支援組織です。(東1-4-6国立商協ビル2F SOHOプラザ ハニカム内 ☎042-505-7398 URL cesakunitachi.com)

起業の第一歩は「言葉にして人に伝えること」から始めましょう。もし身近に起業したいという人がいたら、あなたは協力しますか? その人がどんな事業を始めようとしてい

るのか、これまでの準備や今後の計画はあるのか、熱意はどうか、困りごとや足りないものは何か、詳しく説明してもらえないとサポートするのは難しいはず。あなたが起業したいなら、まずは口に出

してみることが肝心です。具体的であればあるほど、助けてくれたり、良い情報を教えてくれる協力者が現れます。お試しを。



心地よい人とのつながりに魅力を感じて

Sopo Candle(ソポ キャンドル)

大林なおみさん

キャンドル作家の大林さんは、これまで谷保のシェア工房や、ボランティア活動での出会いを通じ「国立での心地よい人とのつながりに魅力を感じて」富士見通りにアトリエをオープン。自然素材を使ったボタニカルキャンドルや、煙やすすが出にくい大豆油脂由来のソイワックスを使って制作するキャンドル教室を開催中。

[Sopo Candle]中1-18-38 オリーブビル3F
☎070-4370-5200 / OPEN: 10:00-19:00 不定休
URL sopocandle.com



周りの人に夢を語って実現

雑貨・ギャラリー Rinowa(リノワ)

平井由紀子さん

他市の職員としてイベントの企画運営をしながら「自分の思いを反映できるスペースを持ちたい」と周囲に夢を語っていたところ、偶然この物件を紹介され、今年1月、1点物のクラフト雑貨なども扱うギャラリーをオープン。作家を招いたハンドメイド講座もあり、誰でも気軽に立ち寄れる空間を作っていきたいと思っている。

[雑貨・ギャラリー Rinowa (リノワ)]
中1-10-8 ノア国立ビル2F / ☎042-505-7693
OPEN: 11:00-18:00(火定休)
URL <http://www7b.biglobe.ne.jp/rinowa/>

多摩地域を“ミュージアム”に見立てて

museum shop T

まさたか

丸山晶崇さん+小宮健太郎さん

多摩エリアの魅力的な作り手やメーカーの雑貨・書籍、その背景にある文化を発信するため、地域のデザインや企画を手がけるデザイナーと、街の書店の元店長がタッグを組んでミュージアムショップを開いた。「お土産屋さんのように、子どもからお年寄りまで新しい発見や楽しみがある、記憶に残るお店にしたい」と、小宮店長。

[地域の文化と本のあるお店 museum shop T]
東1-15-18白野ビル3F / ☎042-505-9587
OPEN: 12:00~19:00(月定休)
URL t-museumshop.com



脱サラして実家を“ひみつ基地”に!

<にきたベース>

佐藤和之さん

「楽しそうにしている人たちや、面白いことを企てる人たちの集まりが好き」と話す店主の“うおーりー”。国立駅北側にある20年空き店舗の状態だった実家『佐藤建具店』のスペースを、脱サラして自力でリフォーム。面白いことや人が集まってくる“街のひみつ基地”のような空間にした。駄菓子屋や教室、ギャラリーなども随時開催している。

[<にきたベース>]国分寺市光町1-39-9
☎090-9134-0996 / OPEN: WEBかお問合せを。
URL kunikitabase.jimdo.com



Spring Event Schedule

詳細は「国立NAVI」で検索。

- 3月16日～31日 Play Me, I'm Yours Kunitachi 2018
- 3月26日 桜守大谷さんがご案内 大学通り桜に関するレクチャーウォーク
- 4月1日 桜らいぶ 春うらら国立・立川 さくらウォーキング
- 4月7日・8日 さくらフェスティバル
- 5月13日 LINKくになち2018
- 5月13日 十二単衣の着付け体験教室



映画「四月の永い夢」篇

プレゼントあり! 詳しくは裏表紙をご覧ください。

国立に暮らす主人公初海の心の旅を描いた映画「四月の永い夢」。1通の手紙をきっかけに国立の日常風景を舞台に物語がはじまります。国立市フィルムコミッションでは、映画の「国立ロケーションマップ」を制作。ロケ地や中川監督の想い出の場所を、映画のヒロイン気分でお散歩しませんか？

ぶらぶら案内人



映画監督 中川龍太郎さん

1990年生まれ。映画監督、脚本家、詩人。2012年ボストン国際映画祭で「Calling」が最優秀撮影賞受賞。「愛の小さな歴史」「走れ、絶望に追いつかれない速さ」で東京国際映画祭史上初の2年連続入選。

[四月の永い夢] 昨年のモスクワ国際映画祭で「国際映画批評家連盟賞」と「ロシア映画批評家連盟特別表彰」をダブル受賞。朝倉あき主演。国立ゆかりの三浦貴大、高橋恵子も共演。5/12(土)から立川シネマシティ、新宿武蔵野館ほかで全国順次公開。

URL tokyonewcinema.com

text: Daichi Inagaki / Hisayo Uesugi / Kumiko Isogai
Mio Kobayashi / illust: Hiramatsu Miwa
協力: Tokyo New Cinema / 国立市観光まちづくり協会

2 市民エクストラも大活躍 ロケスポットコース

「映画では、地元の方々にも多数エクストラとしてご協力いただいています。」たとえば、主人公の初海が看板娘として働いているのは、旭通りの蕎麦屋「大作(東2-2-7)」、初海に想いを寄せる手ぬぐい職人の志能が参加した展覧会場は「国立市民館(中1-15-3)」の地下ロビー。映画の中にあなたの知っている人が密かに登場しているかもしれません。



©Tokyo New Cinema



「国立の街は、どこか懐かしいノスタルジックな風景がちんと残っているとこも魅力の1つ。僕の国立への想いは、ちょっと恋愛に似ているかもしれません。」高校生の時から好きだという喫茶店「白十字◎」、スタ弁で有名な「サッポロラーメン国立本店(西2-10-4)」、風景としては一橋大学、富士見台団地などもお気に入り。監督目線で歩くと、日常の風景もいつもよりドラマティックに見えるはず!

せんか 千花

20年にわたって谷保で親しまれている鉄板焼き・お好み焼きの老舗が、建物の老朽化に伴い2月末、同じダイヤ街内の新店舗に移転してリニューアルオープン! 店は新しくなっても、大阪出身の店主夫妻が焼き上げる“本場の味”はそのままなのでご安心を。谷保第一(汽車ポッポ)公園で桜を見て、熱々メニューに舌鼓を打つなんてお花見スタイル、いかがですか?

富士見台1-8-32 / ☎042-573-2989
◎火～土: 17:00～23:00 (L.O.22:00) /
日・祝: 17:00～22:00 (L.O.21:00)
◎月(祝日の場合は火)



フワフワなのに食べ応え大な豚キムチ玉天(950円)。8名様以上は「おすすめコース(2,500円)」がおすすめ



映画「四月の永い夢」
“国立ロケーションマップ”は、上映映画館、国立駅nonowa、公民館、市役所などで配布予定。お問合せは、国立市観光まちづくり協会フィルムコミッション運営委員会(☎042-574-1199)まで。



すしロールセット(ランチ)900円。
お持ち帰りもOK

中1-15-5 / ☎042-572-0543 / ①11:
30~14:30/17:00~23:00 ②月火



A エルク CAFE & BAR ELK

大きなシカが闊歩するカナダの街で、和食の腕を磨いた倉野さん。そのセンスを楽しめるのが、今年8年目を迎えた富士見通り裏のカフェバーです。ガレージを改装した店内にはこだわりのワインや日本酒もご用意。家族での食事からひとり飲みまで、シーンを問わず利用できます。初めての方は、ランチの大定番「すしロールセット」からどうぞ。

B MAGOME Labo

「有機 JAS 認証」を持つ米卸売会社(株)マゴメが1月に開店したばかりの、お米と雑穀と紅茶が美味しいデリ&カフェ。南口の「お米パン工房 MAGOME」は姉妹店。この春は、大学通りの桜を楽しんだ後は人混みを抜けて、麵料理をいただきながらオーガニックワインを味わう“大人のお花見”はいかが? 「ラボ」の由来でもある併設のオープンキッチンでは、米や米粉を使った料理教室なども計画中です。

国分寺市光町1-45-12 / ☎042-505-9394 / ①9:30~21:30 (L.O.21:00) ②土日



玄米(170円)と白米(150円)が選べる厳選米のおにぎり。5種類あるバーガー(290円)のパンはもちろろん米粉粉だ。麵料理のランチ(980円)は副菜が選べるのが嬉しい



©Tokyo New Cinema



音大付属小

主人公気分でお散歩!

初海&志熊コース

「16歳の時、父が医院を開業して以来、国立に来るようになりました。こんなにお散歩がたのしい街は他にないのではないのでしょうか。歩くためのスペースがないと散歩はできません。国立は、子どもやお年寄りにもやさしい街ですよね。」映画の中でも、国立駅前、大学通り、プランク通り、富士見通りなど、お馴染みの街の風景が登場します。



©Tokyo New Cinema



街に恋して
絵になる
国立コース

C 白十字



アニメ「おおかみこどもの雨と雪」でも登場した店先。映画「四月の永い夢」の中では、主人公がお茶を飲むシーンで店内が登場します

中川監督も「国立の喫茶店と言えば白十字ですよ。」と言う、創業1955年の老舗洋菓子店。広い店内喫茶サロンスペースにはグランドピアノもあり、音楽会も開催されることも。「ノクターン」「メヌエット」といった音楽にちなんだ名前のケーキとともに、谷保天満宮の梅を使った「神苑の梅果」、大学通りの桜並木をイメージした「桜サブレ」、旧駅舎を象ったケーキなど“国立ならではの”商品もたくさん。

中1-9-43 / ☎042-572-0416 / ①9:00~21:00(年中無休) / ※日曜日&祝日は20:00迄(コンサート以外の日)L.O.20:00(日曜日は19:00) [URL http://www.kunitachihakujuji.com](http://www.kunitachihakujuji.com)



創業時からのベストセラーは「マドレーヌ(150円)」、レモンと黒糖味の2種類。チョコレートをサンドした「くにゃんクッキー(150円)」も人気商品

D Casa di Camino

「イタリア伝統の味で多くの人を幸せにしたい。この想いはオープン以来変わっていません。」そう微笑む川上さんによる新サービスが、ご家庭へ伺い料理をふるまう出張シェフ。すでにリピーターも多く、外出が難しい高齢の方からも喜ばれているそうです。記念日やパーティなどの大切な日、あなたもご自宅でBUONO(おいしい)な時間を過ごしてみてください。

出張シェフはお一人様8,640円~。
前菜・パスタ・メイン・デザートが楽しめます

東1-14-22 1F / ☎042-505-5561 / ①11:30~14:00 / 18:00~21:00(土日は17:00~、金土~22:00) ②月



コースはランチ1,400円~



E 旬菜和食 葉月

女性を中心に多くのリピーターを持つ、旭通りの創作和食店です。厳選した食材と独自の手法で作られる料理は優しく上品な味わい。この春もタラの芽の天ぷらを添えたくるみ豆腐(写真)や菊芋の素揚げなど、旬の味覚が楽しめます。ワイン&お食事会やランチコンサートといったイベントも定期的に開催されているので、ぜひ足を運んでみてください。

東2-2-32 / ☎042-505-5712 / ①11:30~15:00(L.O.14:00) 17:30~22:00(L.O.21:00) ②月



くにたち温故知新

在りし日の思い出がいっぱい

ドラマ版『居酒屋兆治』は舞台もロケも国立

国立を愛し国立に暮らした作家・山口瞳著『居酒屋兆治』。映画は高倉健主演『居酒屋兆治』（降旗康男監督・1983）が有名ですが、ここでお勧めしたいのはもう一人のケンさん、渡辺謙主演のドラマ『居酒屋兆治』※です。映画版は舞台を函館に移していますが、ドラマ版は原作通りに舞台もロケも国立。冒頭、満開の桜の先には後ろにこんもりとした樹林を背負った旧国立駅舎が！ しかもこのドラマのエキストラには、原作者の山口瞳夫妻、兆治のモデルの「文蔵」夫妻の他、谷保天満宮の津戸最宮司、山口さんの旅の友で作品中に「ドスト氏」の名でたびたび登場する彫刻家の関頌亭さんと「フーセン女史」こと民夫人、石彫家の関敏さん、ロージナ店主の伊藤接さん、等々オールスター総出演。

皆で宴会する大広間のお店も、謙さんが川谷拓三にヤキを入れられる空き地も今はもうマンションに。もちろん原作もドラマもすばらしいのですが、国立を愛する人にはこの四半世紀の町や人の変遷に目頭が熱くなることと思います。

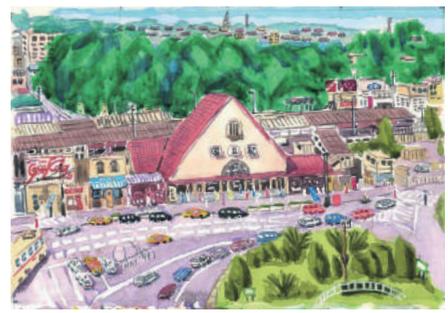
text : Gallery Biblio



※ドラマ版『居酒屋兆治』1992年フジテレビで放送。DVDは廃盤だが、レンタルや中古などでも入手可能。(写真左)モデルの居酒屋「文蔵」はオーナーも替わったが同じ場所では「娑婆羅」が営業中。(国立市富士見台 1-16-20)

KUNITACHI INFORMATION FILE

くにたちインフォメーションファイル



かつての国立駅南口。『国立の風景 2018年カレンダー』より。画：鈴木康治 発行：ゴト一印刷



CULTURE & BOOKS

今月の一冊

国立から期待の
新人作家デビュー!

『乱世をゆけ 織田の徒花、滝川一益』

織田信長の重臣ながら、謎の多い滝川一益（かずます）を主役に据えた、昨年の「第九回角川春樹小説賞」受賞作品。著者は国立七小・一中の卒業生で、会社員をしながら小説を執筆してきたという国立在住の佐々木功さんです。一益の“忍者説”を取り入れた大胆な発想と、時代を駆け抜けるスピード感。戦国時代を新たな視点から楽しめる作品です。



『乱世をゆけ 織田の徒花、滝川一益』
佐々木功著
(角川春樹事務所 1,512円)



色んな国の文様がわかる世界地図も!

文様のものつ歴史を紐解き、およそ300種類もの繊細な美しいタッチで描き出した。梅の花だけでなく「梅鶴」「梅鉢」「向う梅」「三盛り香い梅」と、豊かな表現が目にも楽しい。本を読んだら、さっそく街へ出かけてみよう。こんなところにも文様が!

text : Yu Kato (国立本店)



『文様えほん』(写真右)谷山彩子著 (あすなる書房 1,512円) 増田書店で販売中。国立市中1-9-1 ☎ 042-572-0262 谷山さんがパッケージイラストを手がけた「国立薬膳カリナーヌドル(亀製麺)」も書店内でも期間限定販売 (3月下旬頃)

自然のなか、街のなかにも!

覗いてみよう、文様の世界

「文様」と聞けば、武士の家紋のような格式ばったものを思い浮かべる人も多いかもしれない。けれども、実は言葉が生まれるよりも前から、人々の暮らしの中で紡ぎ出されてきたものだという。そして、現代の街の風景にもさまざまな文様が溶け込んでいることを、『文様えほん』は教えてくれる。



【谷山彩子】国立在住のイラストレーター。雑誌『暮らしの手帖』（暮らしの手帖社）をはじめ、書籍の装丁や挿絵、テキスタイルなども手がける。本書『文様えほん』は初の自著本。



イベント情報

こども・わかもの くにペディア ～つながるまっぷつき～

くににちの子ども、若者のための百科事典。困ったときに頼れたり、学んで遊んでホッとできる市内の居場所などを、マップ付きでたくさん紹介しています。3月末より市内の公共施設などで無料配布予定。



【お問い合わせ】
くににち公民館 ☎042-572-5141

桜並木をいつまでも

「桜のころ」佐野藤右衛門氏 講演会



全国各地の名桜・老桜の世話をしながら、長年、桜の研究を続けてこられた植藤造園当主・佐野藤右衛門氏。市民の手で育ててきたくにの美しい桜並木を、どのようにして守り、次の世代へつなげていくのか、そのお話に学びます。

佐野藤右衛門氏。創業天保3年に遡る京都・植藤造園の第16代当主。著書に『さくら大観』『京の桜』（いずれも紫紅社刊）。

日時：2018年4月1日(日)
13:30 開場 14:00 開演
場所：ギャラリーエソラ
(国立市東3-17-28)

お申込み：日伊櫻の会
sakura@nichii-sakura.com
☎03-3293-2012
(平日10:00-18:00)
定員50名/参加無料/要申込み(先着順) 主催：株式会社 せきや



祇園枝垂桜@東ポケットファーム ©Megumi Ishii

日時：2018年3月25日(日)
13:30 開場 14:00 開会
場所：国立市役所3階 第1・2会議室
講師：SABA 彩子氏(西洋美術史研究家)
定員50名/参加無料/申込み不要
お問い合わせは上記・日伊櫻の会まで

第4回ルッカを知る研究会

国立市の桜の子孫が育っている、イタリア北部の都市ルッカとの友好関係を目指す研究会。次回のテーマは「歴史と美術～巡礼の地・ルッカ」(共催：国立市)

第32回

くににち兼松講堂 音楽の森コンサート

吉野直子の華麗なハープの世界

イスラエル国際ハープ・コンクールで最年少の17歳で優勝して以来、世界的ハープ奏者として活躍する吉野直子さんが、バロックから近・現代まで、ソロと協奏曲の多彩なプログラムで久々に兼松講堂に登場!

2018年5月13日(日) 14:00 開演 (13:15 開場)
一橋大学兼松講堂 (JR国立駅南口徒歩7分)



吉野直子

ハープ：吉野直子
指揮：高井優希
管弦楽：兼松講堂シンフォニエッタ

ロンドン生まれ。著名オーケストラや世界的演奏家との共演多数。祖父・父は一橋大卒。

プログラム：
ルイエ：トッカータ
バッハ：シャコンヌ ～無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番より～
シューマン：アラベスク Op.18
ルニエ：黙想
ピエルネ：アンブロンブチュ・カプリース [奇想的即興曲]
ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調 Op.4-6
ロドリゴ：アランフェス協奏曲 Op.30

- 前売券 (当日券は各500円増し) 消費税込
S席 4,500円 (指定・親子セット限定20席あり)
保護者同伴の小中高生は学生券で指定席可
A席 3,500円 (自由席) 学生券 1,500円 (自由席・30歳未満)
★親子セット券のお申込み、車椅子でのご来場は、あらかじめ主催者事務局まで。☎090-8495-4582
★未就学児童のご入場、お車でのご来場はご遠慮下さい。

- チケット販売
一橋大学西生協 / 「白十字」南口店 /
くににち市民芸術小ホール / 「リストラ
ンテ文流」国立店 / 「とれたの」(富士
見台第一団地)

- 問合せ・電話予約
NPOおんがくの共同作業場
☎042-522-3943 (平日10:00-16:00)
● 主催
ボランティアチーム如水コンサート企画

※ 詳細は「如水コンサート企画」で検索。お申込みもできます。



のらぼう菜をあしらって 春の稲荷寿司

暮らしや仕事のなかで、気負わずに作れる家庭料理を大切に『すみや』さん。今号はピクニックにもぴったりの稲荷寿司を教わりました。地域の野菜でもあるのらぼう菜は、「苦味もアクもないので、さっと茹でるだけ。春の農地のイメージが広がる香りがして、多摩に暮らす楽しさを実感します」とすみやさん。フレッシュなオリーブオイルがよく合います。



すみや 角田真秀さん、和彦さん

シンプルであたたかい家庭料理のレシピ、ケータリングなどを手がけるフードユニット。書籍「フライパン」と「片手鍋」がテーマのレシピ主婦と生活社から3月中旬発売。



のらぼう菜のオイル和え 材料

のらぼう菜 …… 1束
塩 …… 小さじ1
オリーブオイル …… 適量

作り方

のらぼう菜を茹でてザルに上げ、粗熱が取れたら根を落としてから4cmに切り、オリーブオイルで和える。稲荷寿司の上にあしらう。

オイル和えの保存は冷蔵庫で2日間お弁当にも、パスタにも!



春の稲荷寿司 材料(12個分) ……

米 …… 2合
水 …… 360ml
雑穀(キヌア) …… 大さじ2*あれば
A 梅酢 …… 大さじ2
きび糖 …… 大さじ2
塩 …… ふたつまみ
油揚げ …… 6枚
水 …… 250ml
出汁昆布 …… 3cm角
B きび糖 …… 大さじ2 1/2
醤油 …… 大さじ2

作り方 ……

1. 研いだ米、雑穀、昆布、水を合わせて炊飯する。
2. 1を飯台にとり、温かいうちにAを切るように合わせて酢飯に。
3. 油揚げは半分に切り、中を開いてから熱湯をまわしかけ、軽く絞る。
4. 鍋にBを入れて中弱火にかけ、油揚げを加えて弱火にし、7-8分煮る。
5. 油揚げに酢飯を詰める。
6. 桜の花の塩漬けなどをあしらう。

text : Yu Kato



くらしの安全安心 知りたい防災

立川消防少年団員募集!!

少年団の活動をとおして、自分を守ること、大切な家族を守ること、どんな災害にも負けない「命を守る力」を身につけていきます。国立市の少年少女ももちろん参加できます!

- 〈入団資格〉 小学校1年生~中学校3年生まで
- 〈活動内容〉 地域の防災訓練参加や火の用心夜回り等、夏には1泊2日での野外活動があります。詳しくは「立川消防署消防少年団」で検索 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-tatikawa/bfc/index.html>
- 〈活動回数〉 毎月1~2回、日曜日や祭日など学校がお休みの日
- 〈問合せ先〉 立川消防署警防課防災安全係 上本・堀岡 電話 042-526-0119



VOL.11

現金無用の「キャッシュレス社会」

電子マネーやスマホ決済が普及するに連れ、銀行の店舗やATMが減っている。その先に待つ「キャッシュレス社会」では、お金はデータとして個人に紐づけられ、すべての流れが電子的に記録されていく。安全とプライバシーは、分散台帳と高度な暗号を駆使したブロックチェーン技術で守られる。先行するのは北欧や中国だが、米国では商品を手に取りそのまま店を出るだけのコンビニもすでに現れた。あなたはいつまで現金を持ち歩きますか?

※ 詳細は「国立せいさく所」へ。URL seisakusyo.jp



遊びながら演奏の土台づくり

ヤマハ音楽教室

「ぷっぷるくらぶドレミらんど」

遊びに
きてね！
ぷっぷる



石田広美 せんせい

音楽と紙芝居風のテキストに合わせ、大声を出したり、元気にジャンプする生徒たち。こうした遊びの中でリズムや音程を理解できるようになるのが、ぷっぷるくらぶの特徴です。「聴く力と音楽が好きという気持ちは演奏の土台になるもの。無理なく身につけられる幼児期に養ってほしいですね」とは石田先生。お子様の将来や情操教育に音楽をお考えの方、まずは体験レッスンからどうぞ。

ヤマハ音楽教室
キャラクター
ぷっぷる
©YAMAHA MUSIC FOUNDATION



Lesson info

らっきークラス(1歳～)	月謝5,400円～
ぷっぷるクラス(2歳～)	月謝5,400円～
おんがくなかよし(3歳児)	月謝7,560円～
幼児科(4・5歳児)	月謝9,180円～

※詳しくはお問い合わせください

新クラス
4・5月
スタート



無料体験レッスン受付中

まはヤ親子 しじママ子 ためハで

presented by 宮地楽器音楽教室 国立センター

せきやビル7F ☎042-505-5656

【受付時間】

月～土10:00-21:00 日10:00-16:00(祝日休)



Let's try!



Lesson info

えいごでいっしょ(1歳～)	月謝5,940円～
リズムポケット(2歳～)	月謝5,940円～
ポップコーントーク(3歳児)	月謝5,940円～
トーキッズ(4・5歳児)	月謝9,720円～

※詳しくはお問い合わせください

新クラス
4・5月
スタート

1歳から
OKです！

! Hello!!

音で楽しむ!動きで学ぶ!

ヤマハ英語教室

北村樹美湖 せんせい

「言葉は音で出来ています。ですから音をキャッチする能力に優れた幼児期に始めると、習得がスムーズなんです」。そう北村先生が話す通り、ヤマハ英語教室のカリキュラムは、音楽やエクササイズを交えながらお子様が英語特有の音・リズムに親しめるよう作成されたもの。楽しみながら学習の下地をつくることができます。お子様の国際人デビュー、そのための一歩をこの春踏み出しましょう。

ヤマハ英語教室
キャラクター
HOPPY
©M.Okubo



アンケートにお答えいただいた方にプレゼント!



1 CAFE&BAR ELK 「ランチ(すしロールセット)」3名様 2 MAGOME Labo 「お好きなフェメニューのスイーツ」5名様 3 Casa di Camino 「500円分のお食事券」5名様 4 旬菜和食 葉月 「ランチ(お昼のひとときコース)」4名様 5 千花 「お通し代無料」5組様 6 SAKE-BOUTIQUE SEKIYA 「せきやおすめのロゼワイン」3名様

プレゼントの応募方法

ハガキで

①ご希望のプレゼント名1つ②住所・氏名・電話番号・職業・年代③面白かった記事、本誌へのご意見・ご感想をお書きになって、下記までお送りください。[宛先] 〒190-0011 東京都立川市高松町3-14-13 (株)ピックス気付国立歩記編集部「プレゼント」係

WEBで



kunitachiaruki.jp

パソコン・スマートフォンは上URLから、携帯電話はQRコードからどうぞ(一部の携帯は未対応)。QRコードはデンソーウェブの登録商標です。

応募締め切り:2018年4月15日(日) 当日消印有効

※当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。※プレゼント有効期限:2018年5月末日

おかげまで15周年!

表紙の裏話

「四月の永い夢」



今号のマップページは、国立が舞台となった映画「四月の永い夢」の中川龍太郎監督が登場。「人が人を育むように、町も人によって大切に育まれるものだと思います」とは、監督の言葉。私たちは、一人ひとりが自分の人生の主人公です。先人たちからのバトンを受け取り、新しい花を咲かせましょう。人生に灯りを灯しましょう!

表紙撮影協力:

SAEDECO(フラワーアレンジ) & Sopo Candle(キャンドル)

緑と文化のくにたち。
人と暮らしのために。



Illustration by まつかわ



国立市中1-9-30 国立駅より徒歩1分
www.sekiya.co.jp

国立せきやビル

7F	多目的ホール せきやホール 042-576-7728
7F	宮地楽器音楽教室 国立センター 042-505-6656
6F	オープンスクール NHK 学園 042-574-0570
5F	ゴールドジム国立東京 042-501-2828
4F	エステサロンさくら国立店 042-572-3000
4F	ジャック幼児教育研究所 国立教室 042-573-6880
4F	宮崎県日南市 塚田農場 国立店 042-580-4502
4F	隠れ菴 忍家 国立店 042-574-5288
1~3F	SEIYU 国立店 042-576-2401
B1・1F	SAKE-BOUTIQUE SEKIYA 042-571-0001
B1F	くにたち野菜ワインバル くにたち村酒場 042-505-6736
B1F	CRAFT! KUNITA-CHIKA 042-843-0607
第二せきやビル	タリーズコーヒー 国立店 042-501-0336

※営業時間・定休日等は各店にお問い合わせください

Editorial staff 田中えり子 小林未央 造田寛+稲垣大地(株式会社ピックス) Design 国立図案室(H1/P3-6)、有田夏希(P2/7-9)、坂東真奈(P1/10/H4)

印刷・発行 株式会社ピックス 〒190-0011立川市高松町3-14-13 ※本誌掲載の価格はすべて税込みとなります